

日本原子力学会シニアネットワーク連絡会(SNW)
第 26 回SNWシンポジウムのご案内

「エネルギー安全保障の強靱化は原子力が決め手！」

米国とイスラエルによるイラン攻撃で始まった中東での戦争では「エネルギーの武器化」が行われ実質的なホルムズ海峡封鎖による原油供給の逼迫と価格高騰で石油製品価格が高騰し、世界全体がエネルギー危機に直面しました。エネルギー価格の高騰は産業経済と国民生活を圧迫し世界全体の経済に影響を及ぼします。このような危機はかつても経験しましたが今後も起こり得るものです。資源が乏しく他国からの輸入に多大に依存している日本のエネルギー安全保障の強靱化は待ったなしです。再生可能エネルギーの導入に多大な資金を投入していますが、その主力とされる太陽光発電および風力発電は天気任せで負荷追従が出来ず、環境破壊等の問題もあり、その限界は明らかです。日本原子力学会シニアネットワーク連絡会は原子力の役割が我が国にとって死活的に重要で、既存の未活用原子力発電所を速やかに再稼働するとともに、新規建設に国、産業界を挙げて早急に取り組むべきであり、それには規制の抜本的な改革とその予見性が必須と考えています。

今回のシンポジウムではエネルギー需給を取り巻く内外の状況を踏まえ、我が国のエネルギー政策の課題を問いかけ、長期的観点からの解決策の方向性を示唆するメッセージを広く発信いたします。

プログラム

- 日時：2026 年 10 月 24 日(土) 13:00～17:00(開場 12:30)
- 場所：東京科学大学 デジタル多目的ホール(大岡山キャンパス西 9 号館 2 階)
- 共催：エネルギー問題に発言する会、エネルギー戦略研究会(EEE 会議)
- 後援：(一社)日本原子力産業協会、(一財)日本原子力文化財団、(一社)原子力国民会議、株式会社エネルギーフォーラム

総合司会：星野 知彦(SNW 代表幹事)

開会挨拶：早野 睦彦(SNW 会長) 13:00～13:05

来賓挨拶：小崎 完(日本原子力学会会長) 13:05～13:10

基調講演：山本隆三(常葉大学名誉教授) 13:10～14:00

「エネルギー危機が変える原子力の世界」

<休憩(10 分)>

課題提起

(1) 秋元圭吾(RITE システム研究 Gr リーダ) 14:10～14:30

「エネルギー需給展望および供給リスクと対策」

(2) 植竹明人(原産協会常務理事) 14:30～14:50

「原子力最大限活用、とりわけ新增設への取り組みについて」

(3) 岡本孝司(東京大学名誉教授) 14:50～15:10

「原子力最大限活用に必要な規制改革について」

<休憩(10 分)>

パネル討論

モデレータ 田中治邦 (SNW 運営委員 日本原子力学会フェロー) 15:20～15:30

論点紹介

基調講演者および課題提起登壇者との質疑応答 15:30～16:55

モデレータ纏め

16:55～17:00

閉会 (総合司会 星野知彦)

懇親会 (場所: 大岡山キャンパス西 5 号館 2 階 つばめテラス) 17:20～18:50
シンポジウム終了後に立食パーティを行います。ぜひ多くの方にご参加いただき、
講師やパネリスト、参加者相互の交流を深めて頂きたいと存じます。

参加登録にあたって

- 参加登録と参加費の払い込み: 申込締切 2026 年 10 月 15 日予定
 - シンポジウム参加費 (会場借用料等として)
 - 原子力学会員: 1,000 円 (不課税)
 - 原子力学会員以外: 1,000 円 (税込) 学生、プレス: 無料
 - 講演資料は各自 WEB よりダウンロード願います。(申込締切後に改めてご連絡します)
 - 懇親会参加費: 4,000 円 (税込) 学生: 無料
 - 参加ご希望の方は日本原子力学会シニアネットワーク連絡会 (SNW) ホームページ <https://www.aesj.or.jp/~snw/sympo/sympo-index.html> より参加登録下さい。
- 備考 原子力学会会員の皆様へ
本シンポジウムは原子力学会 CPD 対象です。CPD 登録を希望される方は、原子力学会会員番号を記載してお申し込み願います。
- *****

会場アクセスマップ

東京科学大学大岡山キャンパス

西 9 号館 (次図 ㉒ 番の建物)

東急大井町線・目黒線

大岡山駅 徒歩 5 分

